



議会だより



CONTENTS

- ◆ 第1回臨時会で決まったこと 2
- ◆ 第2回定例会（3月議会）で決まったこと 3 ～ 5
- ◆ 常任委員会 6 ～ 9
- ◆ 常任委員会行政視察報告 10 ～ 11
- ◆ ようこそ有権者 11
- ◆ 議会活動日誌 12

表紙：片品小学校卒業式（3月24日）

決まったこと

第1回臨時会

【1月17日開催】

令和7年第1回片品村議会臨時会を開催しました。執行部から「条例の一部改正」「一般会計及び2特別会計の補正予算」が提案され、それぞれ原案どおり可決しました。

条例の一部改正

★議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

★片品村職員の給与に関する条例の一部改正

★片品村パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当、勤勉手当及び費用弁償に関する条例の一部改正

★片品村フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部改正

★特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正

★片品村職員の寒冷地手当に関する条例の一部改正

・人事院勧告を踏まえて、議会議員や職員の期末手当等の支給率の改定などを行うため、条例の一部を改正するもの

一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出補正前	補正額	補正後
46億8,212万3千円	5,063万7千円	47億3,276万円

★主な歳入

地方交付税 698万6千円 → 普通交付税の増額

国庫支出金 4,365万1千円 → 新型コロナウイルス感染症対策
地方創生臨時交付金の増額

★主な歳出

総務費 2,463万5千円 → 物価高騰対応重点支援交付金を活用した
住民税非課税世帯及び非課税子育て世帯
への給付事業実施による増額及び人事院
勧告を踏まえた人件費の増額ほか

民生費 928万円 → 人事院勧告を踏まえた人件費の増額

教育費 645万1千円 → 人事院勧告を踏まえた人件費の増額

商工費 280万8千円 → 片品村民・特定日限定村内スキー場リフト
乗車券代無料事業実施のための増額ほか

特別会計補正予算

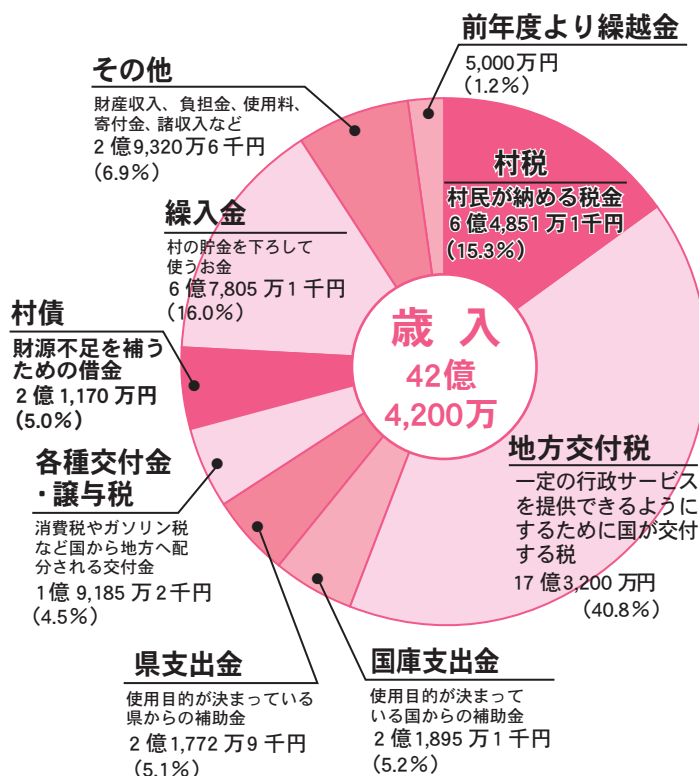
会計名	歳入歳出補正前	補正額	補正後
簡易水道事業会計（第2号）			
収益的収入	1億2,553万3千円	750万7千円	1億3,304万円
収益的支出	1億2,747万2千円	185万6千円	1億2,932万8千円
下水道事業会計（第3号）			
収益的収入	2億1,228万2千円	322万6千円	2億1,550万8千円
収益的支出	2億242万3千円	1,190万円	2億1,432万3千円

第2回 定例会 【3月議会】

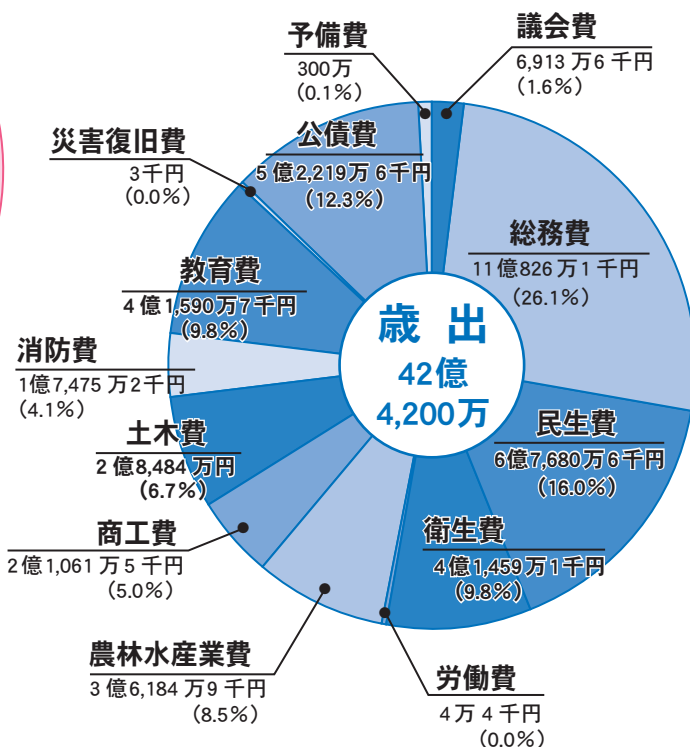
片品村議会

令和7年第2回片品村議会定例会（3月議会）を、3月6日～14日までの9日間にわたり開催しました。
令和7年度当初予算をはじめ、条例の制定や一部改正、教育委員会委員の任命、人権擁護委員候補者の推薦、村道路線の廃止及び認定、令和6年度補正予算などが提案されました。
議会は、予算説明会、各常任委員会と本会議で審議のうえ、すべての議案を全員賛成で可決しました。

令和7年度一般会計予算



前年度比 0.45%増



令和7年度特別会計予算

(単位：千円)

会 計 名	予 算 額	前年度比 (%)	一般会計繰入金
国民健康保険	695,465	△ 4.4	37,767
介護保険	674,836	△ 3.2	103,980
後期高齢者医療	78,252	3.5	26,841
簡易水道事業	収益的収入 129,095	6.8	25,388 (補助金)
	収益的支出 128,108	4.5	
	資本的収入 5,657	△26.2	
	資本的支出 14,992	△10.7	
下水道事業	収益的収入 213,114	8.6	93,874 (補助金)
	収益的支出 213,114	6.4	
	資本的収入 48,394	99.2	
	資本的支出 69,338	12.6	

令和7年度

一般会計当初予算の目玉



主要事業

(単位：千円)

事業名称	新継	予算額	事業内容等
地域通貨「おぜだっペイ」に係るキャンペーン事業	継	92,781	地域通貨「おぜだっペイ」に係るキャンペーン事業 ①片品村転入者・新生児誕生応援ポイント付与事業 ②春のポイントアップキャンペーン（5～6月） ③秋のポイントアップキャンペーン（10～11月）
村有財産活用事業	新	40,548	村有林の有効活用として、伐採して市場に販売出来る優良木材は売却し、売却できない木材はバイオマス発電に発電用木材として売却する。
保育所の完全給食完全無料化	新	1,200	3歳以上児は主食（米）を持参しているため、主食を保育所で提供し、完全給食完全無料化を実施。
国際線への片品村パンフレット搭載事業	新	400	アジア向けのインバウンド広告宣伝として、バンコク、シンガポール、ソウル便の客席に片品村のパンフレットを常設し、片品村への関心を高め誘客を図る。

令和6年度 補正予算

(単位：千円)

会計名	補正額	補正後
一般会計（第6号）	72,343	4,805,103
国民健康保険特別会計（第3号）	△ 59,491	676,172
介護保険特別会計（第3号）	△ 46,797	667,418
後期高齢者医療特別会計（第2号）	2,258	79,949



繰越明許費

(単位：千円)

会計名	事業名	金額
一般会計	小規模農村整備事業 白井沢地区 水路整備工事	4,500
	県単林道改良事業 林道仁加又線 調査設計業務委託	6,908
	林業作業道総合整備事業	9,741
	ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業	2,679
	美しい森林づくり基盤整備交付金事業	818
	村道戸倉・富士見下線 落石防止網設置工事	50,000
	村道 6176 号線 桐ノ木橋 橋梁補修工事	50,000
	片品小中学校特別教室空調工事	29,000
	片品中学校体育館屋根改修施設設計業務	3,850

ワンポイント解説
繰越明許費

前年度予算を使途と金額を明らかにして翌年度へ繰り越す費用です。



教育委員任命・人権擁護委員推薦

教育委員 に 大竹 光一 氏

教育委員会委員の、大竹光一氏が令和7年3月31日で任期満了となりますが、引き続き、大竹光一氏（菅沼）が任命されました。

人権擁護委員候補者 には
千明 ふさ子 氏 を推薦

人権擁護委員の、千明ふさ子氏が令和7年3月31日で任期満了となりますが、引き続き、千明ふさ子氏（幡谷）が推薦されました。

条例の制定・一部改正

件 名	概 要
刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴い、自由刑のうち「懲役」及び「禁錮」が廃止され、「拘禁刑」に一本化されるため、関係条例の用語を整理する条例を制定するもの
片品村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部改正により、国家公務員における措置が講じられたことに準じ、職員の「超過勤務の免除の対象となる子の範囲の拡大」、「子の看護休暇の見直し」、「仕事と介護の両立支援制度を利用しやすい勤務環境の整備」について実施するため、条例の一部を改正するもの
片品村職員の育児休業等に関する条例の一部改正	育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部改正により、引用する法律の条及び項番号を変更するため、条例の一部を改正するもの
公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正	片品村が職員を派遣することができる団体に「片品村森林組合」を加えるため、条例の一部を改正するもの
片品村奨学基金条例の一部改正	片品村奨学資金貸与に関する条例の廃止に伴い新規貸付がなくなったことにより、奨学基金を教育振興のため必要と認められる場合に処分できるようにするため、条例の一部を改正するもの
片品村学校体育施設使用料徴収条例の一部改正	片品村学校体育施設の利用料金の見直しを行うため、条例の一部を改正するもの
片品村社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正	片品村社会体育施設の利用料金の見直しを行うため、条例の一部を改正するもの
片品村指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	介護保険法施行規則の改正により、地域包括支援センター運営協議会の引用規定が変更となったため、条例の一部を改正するもの
片品村小口資金融資促進条例の一部改正	群馬県小口資金融資促進制度要綱の一部改正により、利用者の返済負担軽減のための対策として、融資の借換制度を引き続き1年間利用できるようにするため、条例の一部を改正するもの
片品村運動施設の設置及び管理に関する条例の一部改正	施設の削除及び使用料金の見直しを行うため、条例の一部を改正するもの

村道路線の廃止及び認定

路線名	起点地番～終点地番	延長(m)	幅員(m)
廃止路線	3005号線 花咲字柏棚838-1～花咲字滝之沢2783-5	1087.34	5.27～1.80
	3006号線 花咲字柏棚838-1～花咲字柏棚838-1	67.59	2.25～2.00
	3007号線 花咲字下牛平776～花咲字上牛平805-1	411.66	3.44～1.80
	3008号線 花咲字下牛平778～花咲字下牛平766	174.15	3.04～2.00
	3009号線 花咲字上牛平805-1～花咲字上牛平805-1	78.26	3.87～2.30
	3010号線 花咲字滝之沢2783-3～花咲字滝之沢2783-1	256.12	1.80～1.55
	3011号線 花咲字滝之沢2783-3～花咲字滝之沢2783-1	160.41	3.54～1.80
	3012号線 花咲字滝之沢2783-1～花咲字滝之沢2783-1	63.31	3.10～1.60
	3013号線 花咲字滝之沢2783-1～花咲字滝之沢2783-1	109.17	2.46～1.80
	3014号線 花咲字柏棚846～花咲字柏棚856	257.48	1.90～1.80
	3015号線 花咲字柏棚847～花咲字柏棚852	282.99	3.22～1.80
	3016号線 花咲字柏棚861～花咲字柏棚889	177.07	4.60～1.65
認定路線	3017号線 花咲字柏棚882～花咲字向僧沢2780	248.40	2.00～1.40
	3018号線 花咲字向僧沢2780～花咲字向僧沢2780	77.16	2.18～1.80
	3328号線 花咲字熊野下897～花咲字下牛平776	278.29	7.49～5.00
	3329号線 花咲字柏棚838-1～花咲字柏棚889	360.00	5.00～5.00
	3330号線 花咲字柏棚888～花咲字上牛平805-5	595.00	5.00～5.00
	3331号線 花咲字下牛平776～花咲字柏棚889	605.00	5.00～5.00
	3332号線 花咲字柏棚851～花咲字柏棚867	135.00	5.00～5.00
	3333号線 花咲字下牛平775～花咲字滝之沢2783-23	1124.00	5.00～5.00
	3334号線 花咲字下牛平777～花咲字上牛平827-7	980.00	5.00～5.00
	3335号線 花咲字上牛平805-27～花咲字上牛平827-2	205.00	5.00～5.00

常任委員会の活動

産業民教常任委員会

協議事項

予算について

問 補正予算では、子ども学校が無かったので事業委託料120万円が減額になる一方、当初予算では、事業委託料が75万4千円になっている。昨年未ぐらいに子ども学校の事業は面倒を見る方たちがいないので無くなったと聞いているが。

答 教育委員会事務局長

補正予算の120万の減額は、6年度当初予算で3名の支援員を予定し計上しましたが、支援員は2名しかお願いできなかったため、残りの1名分の120万を減額させていただきました。

当初予算の75万4千円の委託料ですが、子ども学校事業が無くなるわけではなく、放課後の見守りを7年度から保健福祉課の児童館と一本化し、児童館で支援員を雇って行うことになったため、こちらも金額が少なくなっています。

問 幹線道路は村で委託して除雪を行っているが、狭い重

機が入れないような道や民家の中などは地域の人がボランテアに近い形で安価な単価で除雪をしていると思う。



今年のように雪が多く降ると、今のような安価では、これから先、高齢化も含めた中で除雪をしてくれる人がいなくなる。その辺りを見直し、もう少し上げたほうがいいのではないか。

答 (副村長)

狭隘箇所を除雪の補助金については、少額だということには理解していますし、燃料等が上がっているため、単価の検討はしなければならないと思います。

ただし、今年はたまたま大

雪であり、ここで一気に上げてしまうと、平年の時に困ることになるので、例年よりも多かつたら特殊にその年にはかさ上げするといった方向も含めた中で、今後、検討をさせていただきます。

所管事務について

問 未実施の地区要望の重点箇所について、今後の対応方針をお聞かせいただきたい。

答 (副村長)

基本的には可能な限り全部やりたいのが本音ですが、一気に全部とはいかない状況です。そんな中で、優先順位をもって対応することが必要であり、まずは、住民の安心安全につながる緊急性や現場の状況、そして村内全体の各区のバランスなどを考慮して、対応していかねければならないと考えています。

また、対応に時間を要することが多々ありますが、理由として、予算的なこと、また是对応職員が不足していることが原因に挙げられますし、地元についても用地等の問題等があつて、なかなか進まないというケースも多々あります。

現状、技術系の職員は2人しかいませんので、限定的な対応になってしまっているのが実情です。また、外部に委託できるものはできるだけ委託でというように予算を取って回しています。



地区要望箇所の説明を受ける議員

6年度は、技術職員の養成をするため、群馬県の技術センターに研修派遣をさせてもらっていて、この4月には帰ってくる予定ですが、最近はその業種においても人手不足の傾向があり、職員募集してもなかなか人が集まらない状況であり、今後は技術系の職員を含めて募集を検討していかなければならないとも考えています。また、役場だけではなく簡易的なもので地元で

取り組めるものがあれば、資材支給等が有効になりますので、その辺りを検討いただきたいと思います。

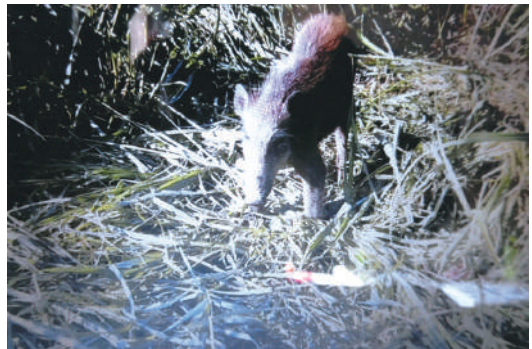
現状はそのようなことで取組をさせてもらっていますので、ご理解をいただきたいと思っています。

問 有害鳥獣の駆除は、今年度は頭数が多いと聞いている。予算が決まっていると以前聞いたが、これからもっと増えていくことが予想される。弾の値段も上がり、村内を移動するための燃料費も上がっている。県に働きかけをしたり、村でも先のことを見据えた予算計上をしなくてはならないのではないか。

答 (農林建設課長)

今年度は捕獲頭数が多くなってきたおり、当初の見込みより100頭くらいオーバーをしているような状況です。

今回のような場合には、3月補正にも上げさせてもらいましたが、年度内の捕獲頭数を推計して補正予算対応で増額をさせていただいております。また、国、県の補助金につきましても、制度を確認しながら、その都度多くの補助金を村に活用できるように努めています。



先日、利根沼田の鳥獣被害対策協議会が開催されましたが、今後、県や近隣市町村の関係団体と情報を共有して、よい事例等があったら取り入れながら進めていくというところで、その会議の中で意思統一を図ったところです。

また、令和7年度予算においては狩猟免許取得補助を新設していますし、奨励金の増額についても検討をさせていただくような形を取ることができれば、担い手確保に向けて進められると考えています。

問 ほたか牧場のバイオマス発電所の進捗状況について、分かるところで教えていただきたい。

答 (農林建設課長)

国の補助金が、今事業を行っているスマートグリーンエネルギー(株)に採択されて、6年度と7年度の2か年に分けて補助が出る予定です。その補助で建屋である旧武尊牧場スキー場レストハウスのポニーの改装、発電機の導入、それから木の伐採のための重機の購入等を行う予定で準備を進めています。

同社からは、企業人制度を使いまして、村に職員が1名来ていて、その職員が準備に当たっているという状況です。発電規模については、当初から50キロワット5台の250キロワットということでお伝えをして、そのまま変わらずということになっています。一般世帯200世帯分の電氣量というイメージです。



改装中の旧レストハウスポニー

発電所の職員数は3名ないし4名を今のところ考えているようで、機械はほぼオートメーション化されるそうです。伐採については、村内に林業の会社が数件ありますが、こちらに委託をする予定でいますので、それほど多くの人数はいないということになります。

問 高額療養費の支給に関してだが、国民健康保険は限度額を超えた場合にはその都度申請をし、なおかつその時に領収書を添付しないと申請ができないということだったが、昨年、県の国保の運営協議会の中で質問したところ、県としては、特別に領収書の添付をしなくてもよろしいとの回答であった。

片品村についても、現状は領収書を添付して申請をするということになっているが、特にお年寄りなどは領収書を無くしたりすることが多々あるので、何か対応ができないものかということ、担当課長に相談をしたところ、その取扱いについては、今後、事務的な制度が改正され、片品村の国保についても領収書の添付なしでも申請ができるような方向で検討しているそうなので、ご説明願いたい。

答 (保健福祉課長)

国では今、全国の自治体によってまちまちだったシステムの標準化を進めており、片品村でも住民課の住民基本台帳や税などのシステムと、保健福祉関係のシステムの標準化を令和7年度の8月稼働に向け準備を進めています。

この標準化に併せて県では、高額療養費については、領収書の添付をしないなど申請事務の簡素化を提案していて、当村でも検討しているところですが、それはあくまでも自治体判断ということで、標準化に移行していても領収書を添付してもらっている自治体もあるようです。

ただし、委員からのご意見は、一住民からの住民サービスの提言ということで真摯に受け止めて、課題を解決しながら8月までには何とか領収書の添付を省略できるように方向で進めていきたいと考えております。

(委員長 小柳 紀一)



常任委員会の活動

総務観光常任委員会

協議事項

所管事務について

問 週末の日曜日の午後には村民にスキー場を無料で使っていたり、ただけのように予算を取っていたりしたが、その利用状況等と今後についても伺いたい。



答 むらづくり観光課長

事業は1月26日（日）から3月30日（日）までの期間中の12日間で行っていますが、3月2日（日）現在の利用状況は、事業期間7日間で、村内全スキー場の利用者が186人となっています。1日平均で約26人になります。

予算につきましては、全部で115万円の予算を計上させていただきましたが、現在まだ余裕がある状況となっています。

また、今後については、3月30日の終了を待つて、その後の検討をしていければと思っています。

問 先日、片品村タウンミーティングが開催され、村民の皆さんから話を聞いたり、グループワークで発言をしていただいたわけだが、積極的に貴重な意見やアイデアを多く出していただけてとても感心した。これからは小学生や中学生、あるいは子育て中のお母さん方に、これから住みよいむらづくりをするための意見を聞くことも大切なことだと思う。このような住民参加型のむらづくりについて、村の考えをお聞きたい。

答 むらづくり観光課長

タウンミーティングでは、まず村長が村の課題や最近の取組状況等の話をし、その中でいろいろな意見が出て大変参考になりました。特に、グループワークは、幅広い年代の皆さんが交流をしながら良い雰囲気の中で行われ、いろ

いろ活発な意見が出て大変良かったと思います。

今後引き続き、テーマや開催方法を検討しながら、住みよいむらづくりのために継続して実施していきたいと思っています。

問 昨年は夏祭りや秋の収穫祭があったが、そういうものに加え、春祭りや、今年好評だった冬のイルミネーションと同時に、雪祭りも一緒に開催できないか。片品村の知名度、魅力度向上のために、より多くのイベントを実施できないものか。



答 むらづくり観光課長

イルミネーションと併せた雪祭りなどの取組ができれば、冬に来ていただく方が、スキー場以外の楽しみ方ができて大変良いことではないかと思っています。

ただし、役場でゼロから計画を立てて実施することは、情報や知識が少なく、人手不足ということもあるので、できれば村民の方で、村を盛り上げるようなことをやりたい。そうした取組に興味がある、そういった方々に協力をいただき、計画を立て、進めていくのが良いのではないかと思います。そこに役場がどんな形で協力できるかということと一緒に検討していければ良いのではないかと考えています。

また、最初から大規模なものを実施するのは難しいと思いますので、村のイベントの補助金などを活用しながら、まずは小規模なイベントを立ち上げ、段々に大きいものへと発展させていくという、そうしたことも検討していただいている。取組が継続していけるように考えていければと思います。

問 越本御神火祭が来年は30周年を迎えるが、第30回の記念祭として例年以上に盛り上げたいので、村からの協力をお願いしたい。また、今後も末永く続けていくために、村全体の冬のお祭りとして実施してもらいたい。

伝統的、代表的な冬の行事継承のため、ぜひとも支援をお願いしたい。



答 (むらづくり観光課長)

越本御神火祭は、冬の片品村を盛り上げる重要な祭りとして位置づけていますので、継続して実施できるようにしなければならぬと思っています。現在、どんな課題があるのか詳しく話を聞かせていただき、今後、役場がどんな形で

協力ができるのか併せて検討していければと思います。

また、来年度の30回の協力についても、具体的な話を、地元の役員を始め関係者の方からお聞かせいただき、検討できればと考えています。

問 先日、高崎で尾瀬の郷親善大使との懇談会があった。定期的にあそこでもやる意味も確かにあると思うが、かたしなまつりやアカペラといった村のイベントに来ていただいて、その人たちの役割というか、村の人にも親善大使はこういう人ですということをおアピールするのも良いのではないかと印象を受けたが、どう考えているか。

先日は、高崎で尾瀬の郷親善大使との懇談会があった。定期的にあそこでもやる意味も確かにあると思うが、かたしなまつりやアカペラといった村のイベントに来ていただいて、その人たちの役割というか、村の人にも親善大使はこういう人ですということをおアピールするのも良いのではないかと印象を受けたが、どう考えているか。



答 (村長)

かたしなまつりを実施し、この間はFM群馬の公開放送も行っている。このようなイベントはいろいろあるので、そういうものにも積極的に出てもらうなど、親善大使の方々にご活躍いただけるような施策を、これからも考えていきたいと思っています。

問 イルミネーション事業の感想と相乗効果について、また、良かった点や反省点等があれば教えていただきたい。

答 (むらづくり観光課長)

イルミネーションの事業は、昨年度まで寄居山公園で実施していたものを今年度は道の駅で実施し、観光協会への委託事業として行い、事業費は350万円です。

感想としては、道の駅の駐車場は普段でも夜になると利用者が増えますが、イルミネーション期間中はさらに増えて、週末になると午後8時くらいになっても満車になっていることが多々ありました。また、写真を撮ったり広場を駆け回ったりするお客さんが多く見られて、特に家族連れや若い人に好評であり、施設や村の中心地に明るさとにぎわいが生まれて非常に有効だ



つたと道の駅のほうでも感じたということでした。

課題としては、広場にイルミネーションを設置したため雪で遊ぶ場所が少なくなるのではないかと話を聞いています。具体的な数値としてイルミネーションを実施した期間中の道の駅の売上げを前年と比較すると、約1・15倍ほど増えているということです。道の駅で実施したのは今年度が初めてということで、検討する課題がいくつかあると思いますが、全体としては良かったと感じています。

今後は、雪遊びや寄つてみたくなるようなイベント的なものが増やせばさらに良いのではないかと感じています。また、イルミネーションの電

球など、一部を購入していますので、グリーンシーズンやほかのイベントでの活用も併せて検討していければと思っています。

問 尾瀬の入域料の報道がされた。檜枝岐村は現状は反対の意見を持っているそうだが、片品村ではこの入域料の取扱についてどのように考えているか。

答 (村長)

最初は入山料という話から始まって、私もそういうことも考えていかなければならないと以前から環境省にも訴えていて、群馬県側では山本一太知事が去年の春に片品村に来て、そこから入域料という話が盛り上がってきたのだと思います。

片品村としては木道が無いので、何かをやる立場ではないし、そこへ資金を拠出することはあまり考えていません。しかし、登山道、木道整備は、喫緊の課題だと思えますので、こうした意見が出ることは良いことだと思っています。徴収を前提とするのではなく、どうすれば整備ができるのかということ議論することが大事だと思っています。

(委員長 小林 政彦)

行政視察報告

委員会の

総務観光常任委員会



～in 台湾～

■視察の期間

令和7年2月12日～14日

■視察の場所

台湾（台北市、桃園市）

■視察の目的

- ①片品中学校交流先表敬訪問について
- ②桃園ランタンフェスティバルについて

■視察先の概要

(1) 片品中学校交流先表敬訪問について



訪問先の幼華雙語國民中學（ようかそうごくこくみんちゅうがく）は、台北市にある私立の中高一貫校で、生徒数は中高合わせて約800名の学校になります。今回は、校長先生を始め数名の先生と意見交換を行い、学校施設等も見学させていただきました。また、日本には観光を兼ねて毎年来

ており、中学校訪問を行っているとのこと。今年1月には、日本語コースの生徒約40名が片品中を訪問し、2年生と交流体験を行いました。さらに8月には片品中の生徒が台湾に行き、現地の生徒たちと体験交流を行う予定になっています。



(2) 桃園ランタンフェスティバルについて

ランタンフェスティバルは「千の池と桃園に集まる光」をコンセプトに親子と文化が融合した光の饗宴を創り出し、光と

影により幸せな都市演出を行っている。展示期間は2月12日（点灯式）から2月23日までとなっています。メインランタンエリアを始め、池の都へようこそ、青春ライトシアター、シティースポットライト、活力発光ステーション、幸福の光大満足、と全部で6つのエリアに分かれており、工芸、竹細工、インタラクティブな科学技術、技術と伝統工芸を結び付け、野球場を見下ろすコンセプトでランタンエリアを分けているそうです。



■視察の結果



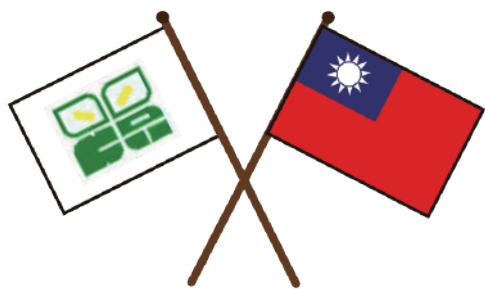
表敬訪問で現地の学校に伺い先生方と意見交換をする中で、学校交流や生徒同士が自分たちで考えた体験をしていくことで、長く交流を続けていくことができれば、いずれは生徒同士はもとより片品村民と台湾の方との観光交流にも繋がって行くのではないかと感じました。



台湾ランタンフェスティバルは、台湾が主催で実施されていますが、その年により開催場所が変わって行くとのことでした。台湾の一大イベントとして今年度は桃園市で開催され、光の芸術やショーなど、台湾、そして桃園市らしさが沢山見られました。片品村においても、規模は小さくとも毎年各区回りで片品らしいランタンイベントのようなものを開催したり、また、越前御神火祭に合わ

せて開催することができれば、村の観光の一つの目玉になり沢山の方に来村していただけるのではないかと思います。

最後に、このたびの視察で巡った台湾の観光地は、ほとんどパンフレットが無く、QRコードによる案内になっていました。ペーパーレス化やグローバル化を進める上で片品村においてもQRコードによる案内が必要だと強く感じました。



Welcome
ようこそ **有権者**

挨拶で分かる片品の素晴らしさ

群馬県立尾瀬高等学校
自然環境科2年

山田 陸 さん



私は、1年前に東京から片品村に来ました。片品村に来て最初に驚いたことは、道行く人に挨拶をしているなどの村民の優しさが直に溢れていたことです。それまでは、ご近所付き合いというものがほとんどなく隣の人の名前も知らない生活を送っていたため、外で村民の方々とすれ違ったときに挨拶をされたことに驚きを感じました。最近、世の中で挨拶を自ら進んでする若年層の

数は年々減っているように感じています。高校3年間でこのような環境に足を踏み入れたことはこれからの人生で必ず役に立つと確信しています。

今まで片品村・尾瀬のイメージが頭にあり、どのような方々が住んでいるのか全く知りませんでした。実際に住んでみると、お祭りに誘っていたいただいたり、おすすめの店を紹介してくださったりなど、優しい方々が沢山いました。これからの生活で人と挨拶することは勿論、沢山の方々とコミュニケーションを取り、比翼連理の仲になりたいと思います。

議会活動日誌

1月

30日 片品村商工会役員新年会

2月

- 1日 越本御神火祭
 5日 学校給食センター運営委員会
 " 上下水道運営協議会
 " 国民健康保険運営協議会
 " 介護保険運営協議会
 7日 尾瀬高等学校学習成果発表会
 " 群馬県国民健康保険運営協議会会長連絡会総会
 8日 ウィンターフェスティバル 2025
 10日 群馬県後期高齢者医療広域連合議会定例会
 " 2月定例利根郡議会議長会
 " 広域圏2月定例議員協議会
 " 利根沼田学校組合議員協議会
 12日 小口資金融資幹旋審査委員会
 " 根羽沢鉱山ガイドセミナー
 13日 第7回尾瀬かたしな未来構想委員会
 14日 群馬県町村議会議長会定期総会
 18日 利根東部衛生施設組合議会全員協議会
 " 利根東部衛生施設組合議会定例会
 21日 広域圏2月議会定例会

2月

- 26日 議会運営委員会
 " 全員協議会
 27日 尾瀬の郷親善大使懇談会

3月

- 3日 社会福祉協議会理事会
 6日 第2回議会定例会開会
 " 全員協議会（予算説明）
 7日 全員協議会（予算説明）
 12日 産業民教常任委員会
 " 総務観光常任委員会
 13日 片品中学校卒業式
 14日 第2回議会定例会閉会
 " 社会福祉協議会評議員会
 17日 ぬまた聖苑焼骨灰供養
 18日 老人クラブ連合会輪投げ大会
 20日 新沼田高校継志式
 24日 片品小学校卒業式
 28日 片品保育所卒園式
 " 沼田市長市政報告会

4月

- 1日 教職員辞令交付式
 4日 片品保育所入園式
 " 片品村行政区役員会議
 7日 片品小学校入学式
 " 片品中学校入学式
 10日 片品村体育協会総会
 12日 相馬原駐屯地 66 周年記念式典

発行 片品村議会

責任者 萩原 正信 編集 議会広報編集特別委員会

印刷所 笠原印刷(有)

かたしなフォトギャラリー



○傍聴のお知らせ ～6月議会を傍聴しませんか！～

次回定例会は、6月6日(金)の予定です。

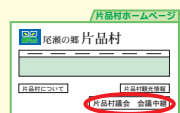
一般質問は、開会初日です。一般質問の質疑応答は片品村公式ホームページ（HP）の議会録画中継にて動画を閲覧できます。



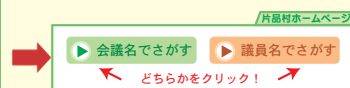
☆スマートフォンでも
ご覧いただけます。
QRコードを読み込んでください。



視聴方法



①片品村ホームページトップ画面右側のバナー
「片品村議会 会議中継」をクリック



②「会議名でさがす」「議員名でさがす」
どちらかをクリック

○議会録画中継について

年4回の定例議会開会日の模様を動画（録画）配信していますので、是非ご覧ください。

議会広報編集特別委員会

委員長	小柳 紀一
副委員長	千明 勉
委員	星野 吉弥
委員	狩野 孝夫
委員	萩原 和典
委員	小林 政彦

編集委員長 小柳 紀一

日ごとに日差しも強まり輝かしい季節となりました。執
 行部から詳細な説明を受ける
 とともに慎重に審議が行われ、
 3月定例会最終日の本会議に
 おいて、一般会計及び5つの
 特別会計の予算が可決、成立
 いたしました。
 本年度も、議会は執行部と
 一丸となって、村民の皆様と
 の幸せのために尽力し、片品村
 の輝く未来の道を探求しながら
 頑張つて参りますので、皆様
 のご協力をお願いいたします。
 議会開催の折には、ご多忙
 のところではあります、が、皆
 様お誘い合わせのうえ、議場
 に足を運んで傍聴していただ
 ければ幸いです。また、今後
 も議会だよりをご愛読いただ
 けるよう努めて参ります。
 村民皆様のご多幸を祈念申
 し上げ、編集後記といたします。

編集後記